

総合講義Ⅰ（社会人基礎力養成）

科目ナンバリング CAE-401
選択 2単位

森 吉弘

1. 授業の概要（ねらい）

企業が学生に求める力は、社会人基礎力（「チームで働く力」「考え抜く力」「前に踏み出す力」）。ほかに等しく求められる力は、コミュニケーション力や論理的思考である。書く、話す、話し合うなど、人や社会とつながる力がコミュニケーション力。本講義では、社会人基礎力を意識し、特にコミュニケーション力や考える力に焦点を当て、企業の求める力を総合的につけていく。なお、就職活動中の学生も多数受講する可能性もあり、就活状況において、若干カリキュラムの内容を変更することもある。

【関連科目】

「社会人基礎力養成演習」

2. 授業の到達目標

- ①社会で活躍するための基礎力が身につきます
- ②近未来の目標を明確にできるようになります
- ③就活に必要な書く力や考える力が身につきます
- ④自己の特性が理解できます
- ⑤仕事についての理解も深められます

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業に取り組む姿勢 30%
- (2)授業内外の課題リポート 40%
- (3)グループワークへの貢献度 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

森吉弘著 『アジアの若者が日本企業に就職するための「思考とスキル」』 ウイネット

5. 準備学習の内容

以下のような事前学習課題を課します。日々の学習を怠ると、講義の内容を深めることはできませんし、成果を上げることが難しくなります。

- ・教科書や講義に関連した書籍の読み込み
- ・全国紙（読朝毎、日経、産経、東京）のいずれか1紙を毎日読むこと
- ・授業内容の復習はもちろんのこと、学んだことを日々意識して行動（思考も）すること

6. その他履修上の注意事項

就職活動や社会人になってからも役立つ教養やスキル、習慣を身につけてもらいたいと考えています。グループワークもあるので、主体的に取り組む学生を望みます。また、授業を効率的に進めるため学生の協力も得ることが多々あります。

7. 授業内容

- 【第1回】 グループで自己紹介①
 - 1)広がりのある一般的な自己紹介を知る
- 【第2回】 グループで自己紹介②
 - 1)一点に絞る「森式5段階自己紹介」の理解
 - 2)自己PRとは何かを知る
- 【第3回】 メールの書き方・使い方・送り方
 - 1)社会人に送るメールの書き方（個人ワーク）
 - 2)電話と手紙、メールのメリット・デメリット
- 【第4回】 大人言葉（丁寧語、敬語、謙譲語）を学ぶ
 - 1)敬語の意味
 - 2)言葉を使うときに大事なこと
- 【第5回】 若者言葉・友達言葉を理解する
 - 1)若者言葉を自覚する（グループワーク）
 - 2)丁寧語に書き変える（全体ワーク）
- 【第6回】 「意見（感想）文」と「事実（記録）文」の相違について考える
 - 1)右脳言葉と左脳言葉
 - 2)事実で伝える
- 【第7回】 自己探求①
 - 1)自己分析の3つの方法
 - 2)自己分析を行う（個人ワーク）
- 【第8回】 自己探求②
 - 1)他己分析を行う（ペアワーク）
 - 2)自己PRを書く
- 【第9回】 事実文（レポート）を書く①
 - 1)タイトルのつけ方を学ぶ
 - 2)趣味の欄を書いてみる（個人ワーク）
- 【第10回】 事実文（レポート）を書く②
 - 1)自己PRを書き直す（個人ワーク）
 - 2)伝わる分と伝わらない分の違い
- 【第11回】 履歴書を書く①
 - 1)基本の理解
 - 2)魅力的なタイトル
- 【第12回】 魅力的な（惹きつける）言葉について考える
 - 1)どんな言葉が魅力的なのか

- 【第13回】 テレビから、魅力的な言葉を学ぶ
1) 街にあふれる広告などから言葉を学ぶ
2) 自分にキャッチなタイトルをつける
- 【第14回】 プレゼンテーションを学ぶ
1) バーバルとノンバーバル
2) プレゼンの作法
3) 短い言葉と文章でキャッチに
- 【第15回】 まとめ
1) 前期の授業を、記事(学校案内用)としてまとめる